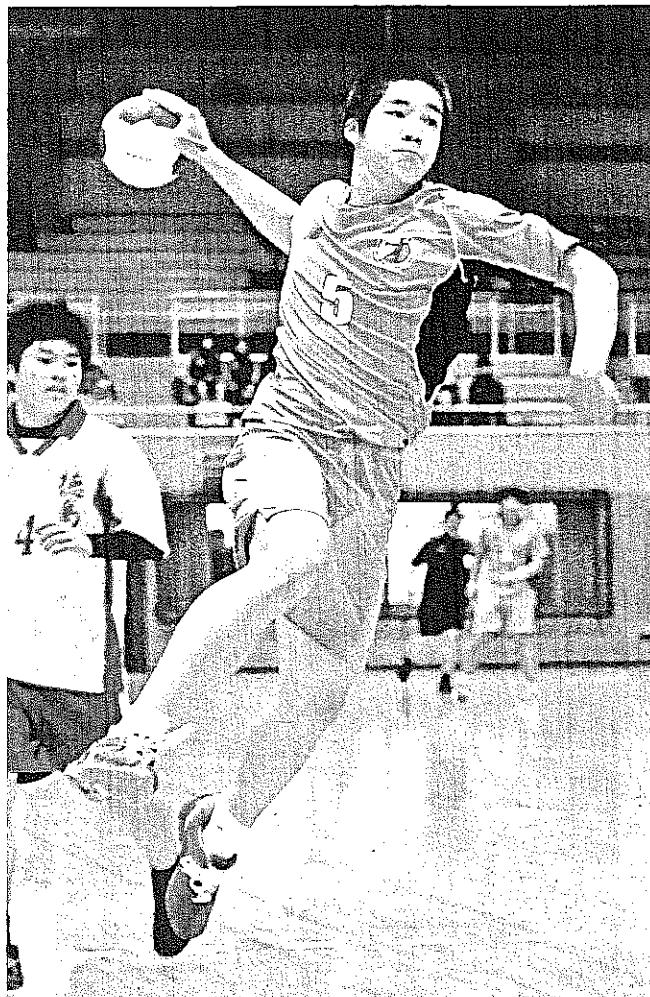


徳島市立男子 3連覇

女子は城北がPT戦制す



男子決勝・徳島市立対城北 前半14分、徳島市立の四十宮佑がショートを決める
〔徳島市立体育館(家段良匡撮影)〕

ハンドボールの2018年度徳島県高校選手権最終日は15日、徳島市立体育館で男子準決勝と女子の決勝が行われた。男子は徳島市立が43-15で

ハンドボールの2018年度徳島県高校選手権最終日は15日、徳島市立T)戦で城北が池田を4-2で破り、3年ぶり16度目の優勝を手にした。

【男子】準決勝 徳島市立41-10 滝井科技 城北20-17城南 ▽決勝

ハンドボール
県高校選手権

徳島市立 43-21-22-6-9 15 城北

力で圧倒した。前半28秒に鎌田が先制すると得点も認める素早い攻撃で終始試合を支配した。「得

て勝利に貢献した森内主将は「練習してきた速攻重視の成果を出すことができた」と喜んだ。

開始直後から主導権を握り、5連続得点などで波に乗ると守っては城北に2度しか連続得点を許さず、最後まで攻めの姿勢を貫いた。一方で15失点には不満も残した。森内主将は「守備で慌てる場面があった。1試合を通してもっとミスを少なくしないといけない」と反省を忘れない。

昨年のインターハイでは粘りを見せたものの1回戦で敗れた。現チームが見据えるのはあくまで全国での勝利。この日の大勝にも気を緩めることなく、さらなる高みを目指す。(石崎義典)

攻めの姿勢貫く 徳島市立

徳島市立は、対戦相手も認める素早い攻撃で終始試合を支配した。「得

て勝利に貢献した森内主将は「練習してきた速攻重視の成果を出すことができた」と喜んだ。

開始直後から主導権を握り、5連続得点などで波に乗ると守っては城北に2度しか連続得点を許さず、最後まで攻めの姿勢を貫いた。一方で15失点には不満も残した。森内主将は「守備で慌てる場面があった。1試合を通してもっとミスを少なくしないといけない」と反省を忘れない。

の田中が5得点を挙げるなどで着実に加点し、など氣を吐いたが及ばなかった。城北は主将